

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり6.97人と、5週連続して減少しています。しかし、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は、第9週は3件の報告があり、学校などの集団生活の場では、引き続き、手洗いうがいの励行、咳エチケットなど感染予防対策を心がける必要があります。

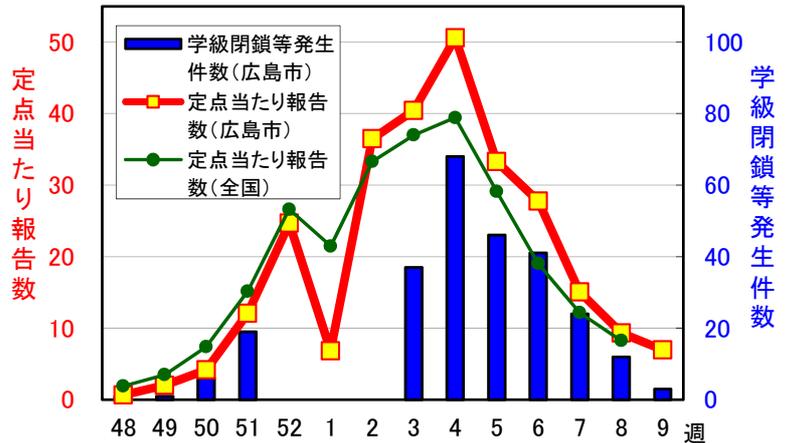
なお、第9週の市内の基幹病院2か所(インフルエンザ定点ではない)による迅速診断キット検査結果では、A型陽性が84人、B型陽性が3人報告されています。(次頁参照)

2. 感染性胃腸炎

定点当たり報告数は11.6人と、多い状態が続いています。また、感染性胃腸炎の集団発生が第9週に1件報告され、2月の累計は4件となりました。福祉施設・学校・保育園などの集団生活の場では、手洗いの励行や便・吐物の適切な処理などの感染予防対策が重要です。

インフルエンザ定点当たり報告数と学級閉鎖等発生件数

2015年3月1日現在



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	増減		前週と比較しておおむね
												急増減	増減	
小児科	インフルエンザ	258	6.97	16.85	↘	小児科	流行性耳下腺炎	12	0.50	0.89	↘	急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
	咽頭結膜熱	1	0.04	0.38			RSウイルス感染症	8	0.33	0.23		増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	82	3.42	1.58	⇒		急性出血性結膜炎	-	-	0.03		微増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	感染性胃腸炎	279	11.63	12.27	⇒		流行性角結膜炎	3	0.38	0.50		横ばい	⇒	ほとんど増減なし
	水痘	9	0.38	1.27			細菌性髄膜炎	-	-	-				
	手足口病	8	0.33	0.49			無菌性髄膜炎	-	-	-				
	伝染性紅斑	-	-	0.17			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.11				
	突発性発しん	3	0.13	0.50			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	百日咳	-	-	0.06			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14					
	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.01										

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	13	女性(20歳代)、男性(60歳代)
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	4	男性(70歳代)

## ■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	報告地	週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)
			広島市	第5週	1,233	2	86	208	14	4	-	7	-	1	35	9	-	3	-	2	-
広島市	第6週	1,028	-	103	220	20	9	-	12	1	2	21	14	-	4	-	1	1	-	-	-
広島市	第7週	557	3	85	212	11	9	1	5	-	1	26	8	-	1	-	-	-	2	-	-
広島市	第8週	345	1	89	272	11	6	2	13	-	-	19	3	-	1	-	-	-	-	-	1
広島市	第9週	258	1	82	279	9	8	-	3	-	1	12	8	-	3	-	-	-	-	-	1
定点当たり	広島市	第5週	33.32	0.08	3.58	8.67	0.58	0.17	-	0.29	-	0.04	1.46	0.38	-	0.38	-	0.29	-	-	0.14
定点当たり	広島市	第6週	27.78	-	4.29	9.17	0.83	0.38	-	0.50	0.04	0.08	0.88	0.58	-	0.50	-	0.14	0.14	-	-
定点当たり	広島市	第7週	15.05	0.13	3.54	8.83	0.46	0.38	0.04	0.21	-	0.04	1.08	0.33	-	0.13	-	-	0.29	-	-
定点当たり	広島市	第8週	9.32	0.04	3.71	11.33	0.46	0.25	0.08	0.54	-	-	0.79	0.13	-	0.13	-	-	-	-	0.14
定点当たり	広島市	第9週	6.97	0.04	3.42	11.63	0.38	0.33	-	0.13	-	0.04	0.50	0.33	-	0.38	-	-	-	-	0.14
全国	第7週	12.15	0.27	2.49	6.75	0.47	0.31	0.30	0.42	0.01	0.02	0.27	0.50	0.01	0.35	0.02	0.02	0.02	0.21	0.01	0.27
全国	第8週	8.26	0.31	2.88	7.54	0.50	0.30	0.30	0.43	0.01	0.02	0.30	0.45	0.01	0.40	0.02	0.02	0.20	0.01	0.01	0.31

## ■新たに判明した病原体検出状況

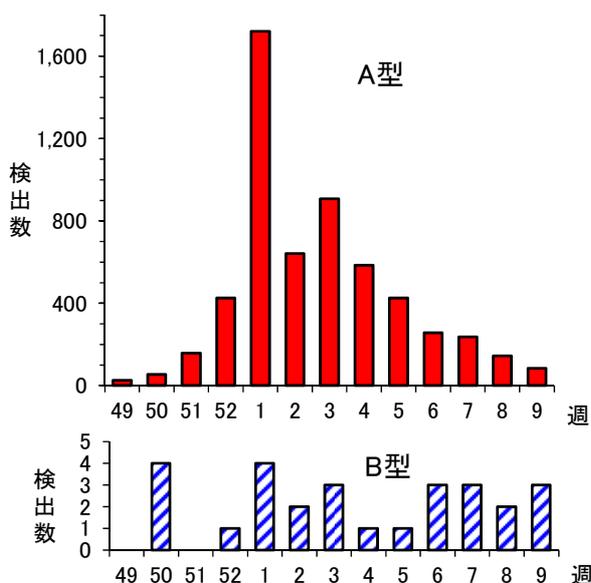
(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱 気管支炎 肺炎	6	男	2015/02/18	咽頭拭い液 鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA(H3)型
無菌性髄膜炎	発熱(38.4) 髄膜炎	15	男	2014/12/22	髄液	エコーウイルス18型
その他の神経系疾患	発熱 意識障害 痙攣	0	男	2015/01/07	髄液	サイトメガロウイルス

\*感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

## 【参考】広島市における今シーズン(注1)のインフルエンザウイルス検査状況 (2015年第9週現在)

### 迅速診断キット検査結果(注2)



基幹病院2か所における迅速診断キットのインフルエンザウイルス検出数の今シーズンの累計は、A型陽性が5697人、B型陽性が28人と、A型が99.5%を占めています。例年、2月頃からB型の検出数が増加する傾向にありましたが、今シーズンは、増加のきざしが見られず、少ない状態となっています。

なお、広島市衛生研究所の検査結果(注3)では、今シーズンはA香港(AH3)型のみ、62件検出されています。

(注1)インフルエンザの1シーズンは9月から翌年の8月までです。  
 (注2)迅速診断キット検査結果は、市内の基幹病院2か所(インフルエンザ定点ではない)からの報告です。  
 (注3)感染症発生動向調査における病原体定点において採取された検体等を、広島市衛生研究所で検査したものです。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
 TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2015年第9週(2月23日~3月1日)